

公立大学法人青森県立保健大学

第二期中期目標期間終了時見込業務実績評価書（案）  
（平成26年度～平成31年度）

平成30年8月

青森県地方独立行政法人評価委員会



# 目 次

第一 評価の基本的な考え方	-----	1
第二 評価の結果		
1 全体評価		
(1) 総評	-----	3
(2) 業務の実施状況	-----	4
(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等	-----	4
2 項目別評価		
(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	-----	5
(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	-----	6
(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	-----	7
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	-----	7
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	-----	8
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	-----	9
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	-----	9

## 第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第78条の2第1項及び第2項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の第二期中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の中期計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした終了時見込業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

### 1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期目標の達成状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況の評価する。

- (1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- (2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- (3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

〔5段階〕

- 5：中期目標の達成において特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期目標を達成している。
- 3：中期目標をおおむね達成している。
- 2：中期目標の達成においてやや不十分な状況にある。
- 1：中期目標の達成において著しく不十分であり、重大な改善事項がある。

### 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、第二期中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	伊 藤 成 治	国立大学法人弘前大学 理事・副学長
委員（委員長職務代理者）	大 矢 奈 美	青森公立大学経営経済学部 准教授
委員	中 山 恵美子	有限会社イニシオ 代表取締役
委員	西 川 弥 生	税理士
委員	西 原 和 昭	日本政策金融公庫 青森支店 農林水産事業 事業統轄
専門委員（大学関係）	梅 庭 牧 子	青森県国民健康保険団体連合会 保健活動推進専門員

## 第二 評価の結果

### 1 全体評価

#### (1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第二期中期目標期間においては、

- ・ 1学部4学科の特性を活かした、多職種連携を見据えた健康科学部共通教育を展開している、
- ・ 学生の将来を見据えた教育プログラムを設定するなど、即戦力となりうる人材の育成につながる取組を実施している、
- ・ 国家試験対策等により、各種国家試験の合格率は全国平均以上の高い水準を維持している、
- ・ 就職ガイダンスの実施等により就職率についても95%以上の高い水準を維持している、

と認められる。

中期計画については、総じてほぼ計画どおりに実施できる見込であると判断され、「中期目標を達成している」と評価できる。

引き続き、保健医療福祉に携わる人材の養成に努めるとともに、高度な教育研究機関としての機能を一層高め、本県が抱える重点課題に密着した研究等に取り組む、県民や地域社会への貢献に努められることを期待する。

## (2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として中期計画に定めた事項は着実に実施されている。

<評価結果の概要>	特筆すべき 5	達成 4	おおむね達成 3	やや不十分 2	著しく不十分 1
(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (教育)		○			
(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (研究)		○			
(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画 (地域貢献)			○		
(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画		○			
(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画		○			
(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画		○			
(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画		○			

## (3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

## 2 項目別評価

(1) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）

評価

4：中期目標を達成している。

中期計画の記載24項目中4項目が「中期目標を上回って達成している」、20項目が「中期目標を十分に達成している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期目標を達成している」とした。

### <特に評価する事項>

- ・ 学生の育成に関する目標において、1学部4学科の特性を活かし、多職種連携を見据えた健康科学部共通教育を展開している。また、看護学科においてシミュレーション教育や卒業時移行プログラム、栄養学科において総合演習における実践的な取組といった学生の将来を見据えた教育プログラムを設定するなど、即戦力となりうる人材の育成につながる取組を実施している。
- ・ 教育内容等に関する目標において、全学的な議論のもとディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）とカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、新カリキュラムを前倒しで策定している。
- ・ 学生への支援に関する目標において、学生へのキャリア支援の充実については、個別指導も含めた国家試験対策等により、各種国家試験の合格率は全国平均以上の高い水準を維持している。また、就職ガイダンスの実施等により就職率についても95%以上の高い水準を維持している。

### 【国家試験合格率】

(%)

年 度	H26	H27	H28	H29
看護師	98.1	99.1	99.0	98.0
保健師	100.0	100.0	100.0	93.3
助産師	100.0	100.0	75.0	100.0
理学療法士	100.0	94.1	100.0	93.5
社会福祉士	69.4	92.3	84.0	79.2
精神保健福祉士	100.0	84.6	100.0	100.0
管理栄養士	96.9	90.3	87.9	97.1

### 【就職率（学部全体）】

(%)

年 度	H26	H27	H28	H29
就職率	98.7	98.6	99.1	98.6



<その他の意見>

学生の育成に関する目標において、大学院生（博士前期課程）の学術雑誌への投稿件数について目標を下回っている。研究方法論に関わる科目を充実させた平成29年度からの新カリキュラムにより改善されることを期待する。

【学術雑誌への投稿件数(博士前期課程)】目標：1件/人以上（件）

年 度	H26	H27	H28	H29
投稿件数	0.6	0.24	0.5	0.21

(2) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）

評価

4：中期目標を達成している。

中期計画の記載4項目のすべてが「中期目標を十分に達成している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期目標を達成している」とした。

<特に評価する事項>

- ・ 研究内容に関する目標において、学内研究費助成制度等を活用して既存プロジェクトを継続的に支援した上で、新しく重点課題研究（プロジェクト研究）やヘルスリテラシー促進研究の制度を設け、地域課題の解決に寄与する研究を推進している。
- ・ 研究実施体制に関する目標において、外部資金獲得のためのインセンティブを充実させたほか、研究倫理教育、コンプライアンス教育及び研究活動上の内部監査等を組織的に実施している。

(3) 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）

評価

3：中期目標をおおむね達成している。

中期計画の記載6項目中5項目が「中期目標を十分に達成している」と認められたが、県内就職率の目標値を達成できなかったことから1項目が「中期目標を十分には達成していない」と認められた。

「中期目標を十分には達成していない」とされた項目はあったものの、下記の状況等を総合的に勘案し、「3：中期目標をおおむね達成している」とした。

<今後の課題とする事項>

人材の輩出に関する目標において、求人情報の提供、就職合同説明会の見直し等を継続したものの、県内就職率の数値目標を達成できていない。目標達成の困難さは理解するものの、県立大学として一定程度の県内就職者を毎年度送り出すことを期待されるため、県内出身者の県内定着にターゲットを絞るなどの対策に積極的に取り組んでいくことを期待する。

【県内就職率】目標：44.4%以上 (％)

年 度	H26	H27	H28	H29
県内就職率(学部全体)	33.5	39.3	37.9	31.3

(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期目標を達成している。

中期計画の記載6項目のすべてが「中期目標を十分に達成している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期目標を達成している」とした。

<特に評価する事項>

人事の適正化に関する目標において、事務職員の業績評価について、平成28年度から年2回の実施とし、勤勉手当への反映等に活用したほか、平成29年度には、業務への適正、能力活用、希望業務等に関する自己申告書を徴収して、人事異動に活用し、組織体制の適正化を図っている。

また、教員においては、教員評価を実施し、その結果に基づいて再任人事や学長賞としての個人研究費の追加配分に活用しているほか、平成29年度には教員へのアンケート結果を踏まえて評価表の見直しを行っている。

(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画

評価

4：中期目標を達成している。

中期計画の記載6項目のうち、1項目が「中期目標を上回って達成している」、4項目が「中期目標を十分に達成している」、1項目が「中期目標を十分には達成していない」と認められた。

「中期目標を十分には達成していない」とされた項目はあったものの、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期目標を達成している」とした。

<特に評価する事項>

外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標において、科学研究費補助金以外の外部研究資金の獲得件数について目標を上回り、特許登録となった案件の事業化を進めている。

【外部研究資金獲得件数】目標：7件以上（件）

年 度	H26	H27	H28	H29
件 数	9	9	16	8

<今後の課題とする事項>

資産の運用管理の改善に関する目標において、職員宿舎の入居率向上に向けた取組を検討する必要がある。

【職員宿舎年間入居率】（%）

年 度	H26	H27	H28	H29
件 数	70	69	68	67

(6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画

評価

4 : 中期目標を達成している。

中期計画の記載4項目のすべてが「中期目標を十分に達成している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4 : 中期目標を達成している」とした。

(7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

評価

4 : 中期目標を達成している。

中期計画の記載4項目のすべてが「中期目標を十分に達成している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4 : 中期目標を達成している」とした。